



日本ブラインドマラソン協会 JBMA 会報

発行所

特定非営利活動法人 日本ブラインドマラソン協会

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番8号 本郷朝風ビル5F

ホームページ: <https://www.jbma.or.jp/>

TEL/FAX: 03-3814-3229 E-mail: info@jbma.or.jp

発行責任者: 澤木 啓祐 / 編集責任: 事務局



新年明けましておめでとうございます 本年も協会活動へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



会長挨拶

会長 羽毛田 信吾

会報「絆」第151号の発行にあたりご挨拶を申し上げます。会員の皆さまには健康やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、パリ2024パラリンピックにおいて、協会所属の道下美里選手が銅メダルを獲得しました。彼女自身リオデジャネイロ大会から3大会連続となるメダル獲得でした。これまで努力を継続された道下選手の頑張りにより、心より賛辞を贈るとともに、伴走者や強化スタッフをはじめ、地元で日々の練習にご協力いただいた、たくさんの方々の支援者の皆様のご厚情に感謝申し上げます。

大阪長居での全国視覚障がい者駅伝大会、東京国立競技場でのJBMAユニファイドランの主催大会は、多くのボランティアの皆様を支えられ無事に開催することができました。

また、全国各地で開催した伴走者養成研修会及び代々木公園定例練習会には、熱心なブラインドマラソン当事者と伴走希望者が集まり、「ブラインドマラソンを通してノーマライゼーション社会の実現を目指す」とする協会目的の達成に有意義な事業となりました。これらの事業実施にあたってご支援・ご協力いただいた、多くの関係者、ボランティアの皆さま、協賛企業・団体の皆さまには、心より感謝申し上げます。

今後私共は、ブラインドマラソン普及・発展への取り組みを継続し、ノーマライゼーション社会の実現に向けた努力を途切れさせないようにしなければなりません。



羽毛田会長

本年も、協会活動への変わらぬご指導ご鞭撻をお願いするとともに、皆さまにとって希望ある年となりますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

パリ2024パラリンピック 特別表彰

12月7日(土)、ユニファイドラン開催中の国立競技場において、パリ2024パラリンピック視覚障がい女子マラソンで銅メダルを獲得した道下美里選手と伴走者の山下克尚さん、志田淳さんに、「優秀選手章」と「優秀伴走者章」の盾と報奨金の目録が、JBMAの羽毛田信吾会長より贈呈されました。

会場に集まった参加者に祝福された道下選手は「最後まであきらめないで走り切ったことが、メダルに結びついた」と激闘を振り返り、リオから3大会連続で獲得したメダルを、参加者に披露しました。メダルを触ったブラインドの参加者からは「重い!」「すごい!」「初めて触った」など、感激の声がかげれませんでした。

特別表彰(左から、志田、道下、山下、羽毛田会長)



メダルを触る参加者

主催行事報告

OSAKA EKIDEN in 長居 兼第27回全国視覚障がい者駅伝大会

2024年11月4日(月・祝)、「OSAKA EKIDEN in 長居 兼 第27回全国視覚障がい者駅伝大会」が、大阪のヤンスタジアム長居及び長居公園周囲コースを舞台に、大阪陸上競技協会主管の下開催されました。

大会には45チームがエントリー、ゲストランナーに野口みずきさん、柳川春己さん、高橋勇市さん、道下美里さん、堀越信司さんが豪華メダリストチームを編成して、大会に華を添えて下さいました。

開会式では、徳島県から参加の「阿波を共に走る会レディース」による選手宣誓が行われ、大会特別協賛の「ヤマダホールディングス」陸上競技部田中宏昌(たなかひろまさ) 監督のピストルの合図により、レースがスタートしました。

レースは好天に恵まれ、駅伝を楽しむ光景がみられる大会となりました。

視覚障がいの部では、コーベパールチーム(兵庫)が宿敵藪久ランナーズチーム(東京)から杉本杯を奪還し、盲学校の部では和歌山県立和歌山盲学校が久しぶりの優勝を果たしました。

大会を支えて下さった「わーわーず」の皆様他ボランティアの方々のご支援に感謝申し上げます。

スポーツ振興くじ助成事業



一斉にスタート



中継の様子

「第42回J BMAユニファイドラン」が、2024年12月7日(土) 国立競技場にて開催されました。今年も前回に続き、国立競技場トラックとリングロードを使用した特設コースでの実施となりました。報知新聞社の共催をいただき、主管の関東学生陸上競技連盟を中心に、たくさんのボランティアに支えていただく大会運営となりました。



スタートの様子

大会結果

視覚障がいの部

順位 / チーム名 / 時間

Table with 2 columns: Rank (1-6) and Time (e.g., 1時間22分07秒).

盲学校の部

Table with 2 columns: Rank (1-3) and Time (e.g., 1時間50分09秒).

区間賞

区間 / 氏名(伴走者名) / チーム名 / 記録

視覚障がいの部

Table with 2 columns: Rank (1-4) and Time (e.g., 25分39秒).

大会結果 順位 / 記録 / 氏名 / 都道府県 / 伴走者

Table for 5km Visual Impaired section, Men 49 and under.

Table for 5km Visual Impaired section, Men 50 and over.

Table for 5km Visual Impaired section, Men 50 and over, no partner.

Table for 5km Visual Impaired section, Women 49 and under.



トラックを走る参加者



マッサージサービス

高橋勇市さん(アテネパラメダリスト)、堀越信司さん(東京パラ銅メダリスト)、道下美里さん(パリピック3大会連続メダリスト)が大会に華を添えて下さいました。また、今年「新宿区鍼灸師会」による無料マッサージサービスも復活し、走り終えたランナーに好評でした。大会開催にあたり、特別協賛企業としてご支援いただいた株式会社明治様、株式会社新昭和様はじめ、多くの企業・団体の皆さまに感謝を申し上げます、大会の報告といたします。

スポーツ振興くじ助成事業

大会報告

第55回防府読売マラソン大会 兼 第25回日本視覚障がい女子マラソン選手権大会

女子の視覚障がいマラソン選手権大会を兼ねた、第55回防府読売マラソンが山口県防府市にて12月1日に開催されました。

パリ2024パラリンピックの代表選手からは道下美里選手（三井住友海上）と熊谷豊選手（三井ダイレクト損保）

5km	視覚障がいの部	女子 50歳以上 伴走あり
1位	32:49	山邊 なつえ 千葉県（野原 峰夫）
2位	35:56	高澤 節子 東京都（山崎 ひろみ）
3位	36:14	福住 美奈子 千葉県（三浦 佐和子）
10km	視覚障がいの部	男子 49歳以下 伴走あり
1位	39:13	望月 達哉 北海道（北野 喬祐）
2位	41:45	高木 秀和 東京都（菊地 数人）
3位	44:12	鈴木 卓 新潟県（川村 勇氣）
10km	視覚障がいの部	男子 50歳以上 伴走あり
1位	44:38	大岡 義博 東京都（沼田 智紀）
2位	46:11	吉田 英世 茨城県（武田 政男）
3位	46:41	八木 陽平 東京都（梅澤 晃治）
10km	視覚障がいの部	男子 50歳以上 伴走なし
1位	57:37	伊藤 博正 茨城県
2位	1:08:35	田中 幸治 東京都
3位	1:09:11	姫野 和正 千葉県

10km	視覚障がいの部	女子 49歳以下 伴走あり
1位	48:47	小野 沙織 東京都（大橋 学）
2位	52:33	柴原 里美 東京都（今江 章彦）
3位	1:02:16	榎戸 真弥 東京都（稲垣 伊都朗）
10km	視覚障がいの部	女子 49歳以下 伴走なし
1位	49:24	又吉 風歌 埼玉県
10km	視覚障がいの部	女子 50歳以上 伴走あり
1位	53:28	山口 久美子 北海道（相田 佳隆）
2位	55:41	鈴木 慶子 神奈川県（石田 賢一）
3位	1:01:12	齋藤 玉貴 山形県（岡本 英幸）
10km	視覚障がいの部	女子 50歳以上 伴走なし
1位	1:06:16	小林 貴子 群馬県

ブラインドマラソンの部 結果（総合）

視覚障がいの部 男子		
1位	小林文二	2:57:40
2位	小林浩二	3:27:03
3位	今井裕二	3:31:43

視覚障がいの部 女子		
1位	大橋恵理	4:01:57
2位	大坪幸子	4:28:11
3位	林かよみ	4:47:31

晩秋差し迫る11月23日、福知山マラソンが開催され、20名のブラインドランナーが出場しました。

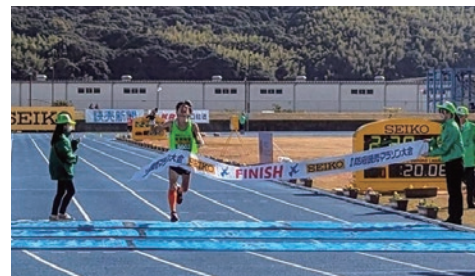
コースが一部変更され、最初は福知山城を目指して走ることとなり、これまでとは違うロケーションを楽しむことができました。制限時間も5時間30分から6時間に緩和され、多くの選手が完走を目指して、駆け抜けました。

第32回福知山マラソン大会

大会結果

視覚障がいの部 男子		
1位	高井 俊治	2:29:15 アジア新 自己新
2位	大石 航翼	2:40:05 自己新
3位	山下 慎治	2:48:02

視覚障がいの部 女子		
1位	道下 美里	3:03:42
2位	和木 茉奈海	3:19:21
3位	藤井 由美子	3:20:13



フィニッシュする高井選手

の2名が出場しました。

女子のレースは、万全の状態ではない中、道下選手が貫禄の走りを見せ、3時間3分42秒のシーズンベストで優勝。前半積極的に記録に挑戦した、若手の和木茉奈海選手（IMV）が後半も粘りをみせて2位に食い込みました。

男子は熊谷選手が自己記録を更新するペースでレースを進めましたが、30K前後から足の痛みにより次第にペースダウンして後退。防府3連覇中の高井俊治選手がトップに踊り出ると、アジア記録となる2時間29分15秒の自己新記録で見事大会4連覇を果たしました。大石航翼選手（JBMA）が自己記録を約2分縮める走りで2位と健闘しました。



研修の様子



お疲れさまでした！

山田昇記念財団 特別協賛研修会報告

「伴走教室 in 徳島（徳島県徳島市）」 報告

今年度も、公益財団法人山田昇記念財団様の特別協賛による伴走者養成研修会を各地で開催しました。

協会では、各研修会に講師を派遣して伴走・伴歩の講習を行い、ブラインドマラソンの理解促進と普及に努めました。

研修会参加者には、財団より「伴走（視覚障害）ビブス」「伴走ロープ」「伴走ガイド（パンフレット）」他が提供されました。

2024年11月10日（日）、NPO法人あわとも主催の伴走教室が「あわとも設立記念イベント」として開催されました。

NPO法人あわともは、ブラインドマラソンサークル「阿波を共に走る会」の母体として発足した団体です。会場となった徳島市立内町小学校体育館には、視覚障がい者7名を含む65名の参加者が集まりました。

理論講習の後、介助法や伴歩・伴走の実技を行った様子は、地元の徳島新聞にも紹介されました。

「あわとも」の発展をお祈りします。

「伴走・伴歩講習会（長崎県佐世保市）」報告

2024年11月17日（日）、佐世保伴友会主催の講習会が行われました。

佐世保伴友会は、佐世保市を拠点に長く活動を続けているブラインドマラソンサークルです。小学校跡を利用した佐世保市民活動交流プラザには、47名（視覚障がい者13名）の参加者が集まり、グラウンドでの実技と室内（教室）での理論に熱心に取り組んでいらつしやいました。講習会には、アトランタパラリンピック金メダリストの柳川春己さん（協会特任理事）もメダルを持参して参加くださり、実際にメダルに触れた参加者は、大いに盛り上がりました。講習後、伴友会の活動に参加するようになった方もいるとのこと、有意義な講習会になりました。



教室での理論講習



運動場での実技

「伴走者養成研修会（福井県福井市）」報告

2024年12月15日（日）、福井楽障クラブ主催の研修会が行われました。

福井楽障クラブは、発足30年を超える伝統あるブラインドマラソンサークルです。研修会当日は、夜半から降り出した雪がうつつらと積もる中での開催でしたが、暖房設備が整った福井県社会福祉センター体育館には、視覚障がい者10名を含む29名が集まりました。参加者全員が伴走経験者であり、伴走や競技規則などについて活発な質疑応答がなされ、中身の濃い研修会となりました。



福井楽障クラブの皆さん

その他の研修会等報告

横浜市立義務教育学校緑園学園人権講演会

2024年12月6日（金）講師：高橋勇市
人権週間の取り組みとして開催された「人権講演会」に講師を派遣しました。

第10回日産スタジアム 5時間耐久リレーマラソン

2024年12月15日（日）
主催者よりブラインドチームの招待があり、JBMAチームと横浜八走会チームが5時間のリレーマラソンに挑戦しました。
チャリンの配布など、会場での広報活動も実施しました。



ブラインドチームの皆さん

今後の伴走研修会予定

第2回東京研修会

日時：2025年3月9日（日）
会場：狛江市民総合体育館
主催：日本ブラインドマラソン協会
協賛：公益財団法人山田昇記念財団
お問い合わせ：日本ブラインドマラソン協会
※詳細は、協会ホームページをご覧ください。

今後の行事予定

第73回別府大分毎日マラソン大会 兼 第25回日本視覚障がい男子マラソン選手権

開催日：2025年2月2日（日）
会場：別府大分毎日マラソン大会コース（大分県）
詳細は、大会ホームページをご覧ください。
<https://www.betsudai.com/>

第14回日産ふれあいロードレース

開催日：2025年2月16日（日）
会場：日産自動車株式会社 テクニカルセンター構内（神奈川県厚木市岡津古久560-2）
詳細は、大会ホームページをご覧ください。
<https://www.nissan-global.com/jp/sustainability/social/citizenship/roadrace/>

2025年主要行事予定

2025年度の事業計画は理事会での承認を待ちますが、例年に倣い主要事業の日程案をご紹介します。皆さまのご支援・ご協力をよろしく願います。

- 4月20日 かすみがうらマラソン2025
- 5・6月予定 定例総会・理事会
- 7月予定 第1回東京伴走者研修会
- 8月31日 北海道マラソン2025
- 9月予定 伴走者・視覚障がい者研修（会場未定）
- 10・11月予定 第28回全国視覚障がい者駅伝大会（長居）
- 11月23日 福知山マラソン
- 11・12月予定 第43回JBMAユニファイアドラン（国立競技場予定）
防府読売マラソン（防府）

編集後記

パリ2024パラリンピックで3大会連続のメダルを獲得した道下選手は、東京大会で金メダル獲得後にモチベーションを維持できた最大の理由として「周りで支えてくださる方々に恵まれた」と語っていました。ブラインドマラソンが、たくさんの人と人との支え合いで成り立っていることがわかるコメントでした。会報151号では、「パラリンピック特別表彰」の様子や大会開催事業及び研修事業他の各種活動についてご紹介しました。ご参加いただいた皆さま、支えていただいた皆さまに心より感謝を申しあげます。

また、伴走研修会については、今年も山田昇記念財団様の全面的なご協力をいただきました。来年度の開催について、ご希望やご相談がございましたら、事務局までご連絡ください。今年が、皆さまにとって、飛躍の年となることを祈念いたします。

